

認知症施策についてのご案内

● 認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり条例（令和2年4月1日施行）

認知症は誰もがなりうる、身近な病気です。名古屋市は、認知症の人と家族をはじめ、すべての市民が安心して暮らせるまち・なごやの実現を目指して、「認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり条例」を制定しました。市民の皆様は、認知症への理解を深めていただき、認知症の人やその家族への支援にご協力いただくため、認知症に関する施策などをご案内します。

認知症とは…

● 認知症とは…

いろいろな原因で脳の細胞が縮んだり、働きが悪くなるために、「物事を記憶したり、判断する能力」や「時間や場所、人などを認知する能力」などが低下し、日常生活の中で支障をきたしている状態です。

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれており、2025年には全国で約700万人、本市においても約11万2千人に達すると推計されています。



● 主な認知症の種類と症状

認知症は、原因となる病気によって症状は様々です。必ずしも、もの忘れだけがあらわれるとは限りません。

区分	特徴的な症状
アルツハイマー型認知症	もの忘れ、時間や場所などが分かりづらくなる、理解判断力の低下
レビー小体型認知症	幻視、妄想、うつ状態、パーキンソン様症状（ふるえ、小刻み歩行など）
前頭側頭型認知症	性格の変化（怒りっぽくなるなど）、無気力、社会のルールが守れなくなる、記憶力は比較的保たれる
血管性認知症	もの忘れ、感情のコントロールがうまくいかない、手足の麻痺

● 適切なサポート、安心できる環境、適切な治療が大切です

認知症になると何もできなくなると思われがちですが、そうではありません。長年やってきたこと、得意なこと、好きなことを生かして、活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。

- まわりの方のサポートや、安心できる環境、適切な治療があれば、認知症の人が自分らしい生活を長く続けることができます。
- 認知症を正しく理解し、ご本人やご家族、まわりの方々と、これからの生活を一緒に考えていくことが大切です。



認知症の人やその家族への支援

認知症の人や、その家族の方々が安心して暮らせるように、不安や悩みに対応し、支援するためのさまざまな取り組みが行われています。

● もの忘れ相談医による専門相談【毎月1回程度実施、予約制】

認知症の知識や症状・治療、ご本人やご家族がもつ不安などについて、医師が相談に応じます。

● 家族サロン・認知症カフェ ● 認知症家族教室

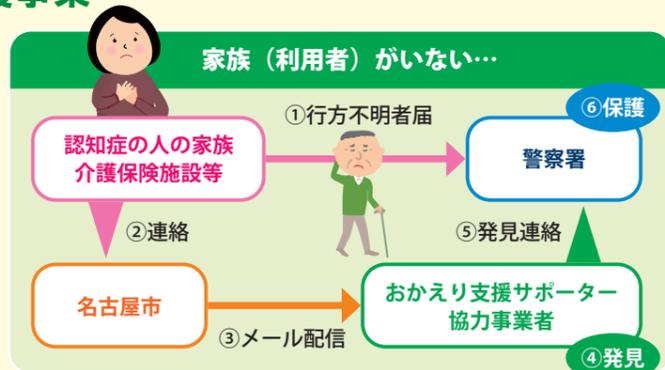
家族サロンや認知症カフェでは、認知症の人を介護する家族等が悩みや不安などを話し合い、交流会や情報交換を行います。認知症家族教室では、講師の話の聴いた後、同じ思いを抱えた介護者同士の情報交換を行います。

● はいかい高齢者おかえり支援事業

認知症の人のはいかいによる事故を防止するため、地域の方の協力を得て、はいかいされている方を早期に発見する取り組みです。

はいかいのおそれがある方の情報を登録した上で、その方が行方不明となった場合に、行方不明となった方の身体的特徴や服装等の情報を「おかえり支援サポーター」や協力事業者に対してメールで配信し、情報提供を依頼します。

※事業を利用するには、事前に登録が必要です。



【問合せ】 **熱田区いきいき支援センター** ※4ページをご覧ください。

● おかえり支援サポーターを募集しています

事前に携帯端末やパソコンのメールアドレスを登録し、行方不明となった方の身体的特徴や服装等の情報をメールで配信し、可能な範囲で検索のための情報提供にご協力いただけます。



登録費用 無料 (ただしメール送受信等に要する費用は登録者負担)

登録方法 右記のコードを読み取り、アクセスしたページから空メールを送信するか、下記のメールアドレスに空メールを送信してください。

✉ okaeri@sg-m.jp ←空メールを送信



【問合せ】 名古屋市健康福祉局高齢福祉部 地域ケア推進課 電話：972-2549 FAX：955-3367

● 「なごや認知症の人おでかけあんしん保険」が始まりました

認知症の人が事故を起こしたときに備える「賠償補償制度」です。

【対象】 認知症の診断を受けている名古屋市民 【保険料】 無料 (ただし診断書料は自己負担)

【申込】 所定の申請書と診断書を名古屋市認知症相談支援センターに送付

【問合せ】 名古屋市認知症相談支援センター 電話：734-7099 FAX：734-7199

年末年始、祝日を除く月～金 9時～17時

● あったか熱田つながりケアパス・つながり手帳

いきいき支援センターで交付しています。

「つながりケアパス (認知症ケアパス)」は、認知症の進行状況にあわせて、認知症のある方やそのご家族などが利用できる医療・介護サービスをまとめたものです。

「つながり手帳」は、ご本人が大切にしてきた“思い”が、支援する人の間で引き継がれるよう、書き込めるものになっています。



市民や事業者の取り組み

認知症は誰もがなり得る、身近な病気です。

市民の誰もが、認知症に関する正しい知識を習得し、理解を深めるとともに、日常生活において認知症の予防に努めることが大切です。

また、認知症の人やその家族の悩み、不安等に気づいたときは、その状況に応じて適切な支援を行うことが大切です。

※「認知症の予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」、「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

● 認知症サポーター養成講座

認知症の理解を深め、認知症の方や家族を温かい目で見守る「認知症サポーター」になっていただくための講座を開催しています。個人だけでなく、事業者の皆さまからの申込み受け付けています。

認知症サポーター養成講座

場所 熱田区在宅サービスセンター **開催日** 毎月1回定期開催

時間 90分程度

費用 無料

内容 認知症についての理解、診断と治療について、サポーターの役割など

出張講座も実施しています！

ぜひご利用ください。

対象 5人以上の団体・グループ
(学校、商店、銀行、病院、介護施設、サロン、子ども会、友人同士など)



【申込・問合せ】 **熱田区いきいき支援センター** ※4ページをご覧ください。

● 認知症の人と接するときの心がまえ

認知症だからといって、これまでのつきあいを変える必要はありません。認知症の人への対応には、認知症に伴う認知機能の低下があることを正しく理解していることが必要です。

認知症は自分たちの問題であるという認識をもつとともに、本人や家族に大きな負担が生じていることを理解し、認知症の人やその家族を支援する姿勢が大切です。

基本的な心がまえ

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない
- つじつまの合わないことを言っても否定しない

困っている認知症の人を見かけたら

声かけの7つのポイント

- ① まずは、さりげなく様子を見守る
- ② 自然な笑顔で、余裕を持って対応する
- ③ 声かけは、できるだけ一人で
- ④ 声かけは、正面から視界に入るように近づき、笑顔で
- ⑤ 声かけは、相手に目線を合わせて、優しい口調で
- ⑥ 声かけは、おだやかに、はっきりした言葉で
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する



あれ？認知症かなあと思ったら ～早期発見・早期対応が大切です～

「あれ？認知症かなあ」と思ったり、「気づきのポイント」で気になることがあれば、「いきいき支援センター」に相談しましょう。

あれ？認知症かなあと思ったら ～気づきのポイント～

- 同じことを言ったり聞いたりする
- 財布などを盗まれたと言う
- 趣味をやめたり、興味を示さなくなった。
- 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 幻覚を見る

認知症の早期発見・早期対応にはメリットがあります

- 早期に診断、治療を受けることで、治る場合があったり、進行を遅らせることができると言われています。
- 早くから適切な治療やケアを受けることで、生活上の困りごとやトラブルを少なくすることもできます。
- 介護するご家族も、認知症や介護について正しい知識を身につけたり、仲間を見つけたりする時間をもつことができるようになります。

もの忘れ検診を受診しましょう

もの忘れ検診を受診して、認知症の適切な治療や予防のきっかけにしましょう。

対象者 65歳以上の市民

実施場所 市内の協力医療機関

自己負担 無料

受診回数 年度に1回

検診内容 問診による認知機能検査

※この検診は、認知機能の低下について簡易に検査するものであり、認知症の診断を行うものではありません。
※あらかじめ協力医療機関に予約し、当日は保険証などの住所、生年月日がわかるものを持参して受診してください。

問合せ 名古屋おしえてダイヤル 052-953-7584 年中無休 朝8時から夜9時まで

※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。



協力医療機関や精密検査を実施している医療機関は、
市公式ウェブサイトをご覧ください。

名古屋市 もの忘れ検診 **検索**



認知症に関する相談窓口

熱田区いきいき支援センター

電話：671-3195 FAX：671-1155

熱田区いきいき支援センター 分室

電話：682-2522 FAX：682-2505

月～金（祝休日・年末年始除く） 9時～17時 相談無料

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職がチームとなって、健康・福祉・介護などさまざまな面から高齢者を支える機関です。

「認知症総合相談窓口」として、認知症に関するさまざまな相談にも対応しています。

また、医療、介護の専門職と専門医とで構成された「認知症初期集中支援チーム」が、認知症が疑われる人や、認知症の人とそのご家族を支援します。

若年性認知症に関する相談支援

名古屋市認知症相談支援センター

電話：734-7079 FAX：734-7199

若年性認知症支援コーディネーターが、いきいき支援センターや就労に関わる関係機関等と連携しながら、相談対応をしています。